

編集後記

戦後60年。この夏は広島・長崎原爆、沖縄戦、靖国を特集したNHK「平和アーカイブス」に見入る。戦争に消えたプロ野球選手の特集も放送された。「戦争とスポーツ」の歴史的社会的研究の地道な追究に思いを馳せる。5回シリーズのBBCドキュメント「アウシュビッツ」は近年の研究成果を盛り込んでいた。

今号は、科研費3年目（研究課題名「スポーツのグローバル化とローカリゼーション」基礎研究（C）（2）課題番号 1458021-00、研究代表者 上野卓郎）の終了にあたり科研費テーマの研究成果を報告するものである。そのため、今号のタイトルは科研費テーマの二度目の登場と相成った。今回、論説と研究ノートの枚数に若干の柔軟性を持たせた。なお、ゲスト研究会での録音ミスのため、その内容を収録できなかったことを、ゲストにお詫びするとともに断りしたい。

今回も渡辺、関根両助手に編集実務の面で全面的に協力してもらった。印刷所が変わったことも付記したい。（上野卓郎）

一橋大学 スポーツ研究

Vol.24

スポーツのグローバル化とローカリゼーション再論

2005年10月1日 発行

編集・発行

一橋大学スポーツ科学研究室

〒186-8601 東京都国立市中2-1

042-580-8270

www.rdche.hit-u.ac.jp/~sports/
